

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年3月13日

事業所名:つばめ療育館 大曲分館

		チェック項目	はい	どちらとも いえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	1		<ul style="list-style-type: none"> ・大曲分館の間取りを変更したことで宿題・課題をする部屋、自由遊びで使用する部屋などがより明確になり、職員が利用者を見守りやすくなったように思う。現在は、スペースや定員に関して困り感を感じない。 ・利用児の動きが激しいときは、運動ルームが狭く感じる。 ・運動は少人数に分けて対処している。 ・12月にレイアウトの変更を実施。運動ルーム、課題・勉強スペースを個室とし、利用児が次活動に切り替えやすい環境づくりに努めた。 ・模様替えをしたことで運動ルームが広くなり、より快適に過ごせるようになった。
	②	職員の配置数は適切である	4	1		<ul style="list-style-type: none"> ・大曲分館の間取りを変更したことで宿題・課題をする部屋、自由遊びで使用する部屋などがより明確になり、職員が利用者を見守りやすくなったように思う。現在は、スペースや定員、職員の配置数に関して困り感を感じない。 ・利用人数に対しての職員の配置数は適切だが、部屋の数が多く死角となる場所もあるため利用児の動きしだいでは、見守りが難しいと感じる時がある。 ・下半期は欠席が多く、適切な職員の数で対応できていた。職員同士で支援に関する意見交換の時間を確保することが出来ていた。しかし、長期休みは職員をどのように回すか再検討の余地あり。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・奥の部屋(交流ルーム)は、自動ドアを締め切り、テープで固定しているが冷気が入ってくるため、冬季は特に温度の管理が難しい。エアコンやストーブの効果を感じられないことも多いので、何かしらの改善が必要と感じる。 ・館内は建物の構造上の理由もあるが冷え込む。 ・廊下へ出る扉が重い。 ・暖房の効きが悪く寒い。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	1		<ul style="list-style-type: none"> ・勤務時間の関係で、17:00以降振り返りに参加できる職員が全員でないため、日中の空いた時間も使いながらモニタリングや支援の改善の案を話し合っている。 ・改善が必要かどうかも含めてすぐに職員間で共有するようにしている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4		1	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	1		<ul style="list-style-type: none"> ・土曜出勤の際、研修を行う時がある。 ・月一の土曜出勤の際、適宜研修を行っている。

適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5			・当館での利用者の様子を分析し、職員間で話し合いの上計画を立案している。保護者との話し合いの時にご要望があれば支援に取り入れさせていただいている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1		
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	5			・情報共有、相談等しながら支援を進めている。(複数回答)
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5			・利用児の意見を取り入れながら提供している。長期休みには、様々な工作活動を企画している。 ・利用児の意見を取り入れながら提供するプログラムを考えている。 ・長期休みには普段の活動では取り組めない工作やレクリエーション活動を取り入れたり、外出活動も安全に配慮したうえで実施した。 ・子どもが自分で活動を決めているが、職員も様々な活動を提案するようにしている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	2		・長期休み中は、体育館活動、工作活動、レクリエーション等、さまざまな活動を企画し、利用者の新たな課題等を発見しながら支援をしている。 ・長期休暇は体育館へ行き運動する等、平日とは別でプログラムを立て支援している。 ・長期休暇は普段の活動以外に工作やお買い物ごっこ、買い物体験などの活動を行っている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5			・利用児の特性を踏まえて活動のグループ分けや活動内容を提案している。
適切な支援	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	2		・支援開始前に職員の配置について、必ず確認するようにしている。(複数回答) ・曜日ごとの利用児を確認し、事前情報があれば早めに共有するようにしている。 ・大まか流れや職員の役割分担などはすでに決まっているので確認はしていない。課題の内容などは確認することがある。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5			・振り返りは、HUGに記録すると共に口頭でも情報共有している。(複数回答) ・保護者の方にHUGを通して支援内容をお知らせする際に同時進行で共有し、最後に業務日報を書くことで全体の振り返りも行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			・HUGを記録した人とは別の人が、再度確認するようにしている。(複数回答) ・保護者の方に読んでいただくことを意識している。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	2	3		・身体調和支援(身体のアンバランス等の改善)取り入れて、ガイドラインと融合した支援を行っている。

の提供	⑳	運動(感覚統合)は安全面に配慮して行われている	5			<ul style="list-style-type: none"> ・利用児へ事前にルールを伝えたり、少人数で活動する等の工夫をしている。 ・怪我をしないよう、注意力に課題のお子さんには個別に職員がついている。 ・個人の特性を踏まえながら、安全に運動が取り組めるよう環境設定をしたり運動の補助している。
	㉑	その子どもに合った課題が用意されている	4	1		<ul style="list-style-type: none"> ・日々研鑽し、用意しているが課題のレベルの設定を誤ることもある。課題の設定は慎重に行っている。 ・宿題以外は支援計画に沿ってその子どもに必要な課題を提供している。
	㉒	身体調和支援(マッサージ)について、技術の研鑽は行われている	3	2		
関係機関や保護者との連携	㉓	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5			
	㉔	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5			
	㉕	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	1		<ul style="list-style-type: none"> ・てんかん発作に関しては、保護者から状況を聞き取り、医療機関から意見書を頂く事がある。 ・その他、医療的ケアが必要な利用児の受け入れはない。
	㉖	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5			<ul style="list-style-type: none"> ・つばめ療育館の児童発達支援から放課後デイサービスに移行する利用者に関しては情報提供書を作成してもらっている。 ・情報提供書を作成している。
	㉗	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	1		<ul style="list-style-type: none"> ・今後、事業所移行がある場合に向けての情報提供の方法を考えていく必要がある。 ・依頼があれば、事業所移行への情報提供は行っている。 ・移行する事業所の選択肢が少なく、との都度苦慮している。 ・事例が少ない。
	㉘	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・利用区域に児童発達支援センターが存在しない。
	㉙	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			5	<ul style="list-style-type: none"> ・交流が現実的に可能と考えられる時期は学校の長期休業日であるが、各々が手いっぱい相互理解が得られるとはとは思えない。
	㉚	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・療育支援部会にのみ参画している。
	㉛	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			<ul style="list-style-type: none"> ・お迎え時に口頭で伝える他、HUGのコメント、メッセージ、renrakuメールでもやり取りを行っている。 ・サービス担当者会議に出席し、情報共有している。 ・HUGで写真と文書で伝えている。保護者からコメントなどで質問を頂いた時も丁寧に対応するようにしている。 ・保護者には、日々HUGや口頭で活動の様子等を詳しく伝えている。

	③②	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	3		<ul style="list-style-type: none"> ・必要な利用者に対しては、ご家族に接し方についてアドバイスすることがある。 ・お迎え時に家でも行っていただきたいことお伝えしたり、質問等にお応えしている。
保護者への説明責任等	③③	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			<ul style="list-style-type: none"> ・利用前に担当者から説明を行っている。
	③④	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時や計画書の説明時に行っている。
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			5	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会は結成していない。
	③⑥	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5			
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5			<ul style="list-style-type: none"> ・毎月のおたよりを発行している。 ・おたよりを月に一度発行し、保護者に配布している。
	③⑧	個人情報に十分注意している	4	1		<ul style="list-style-type: none"> ・職員室内に子どもが無断で入ってくることもある。
	③⑨	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			<ul style="list-style-type: none"> ・言葉がけ、視覚支援等を行っている。 ・絵カードや視覚化したスケジュールを提示している。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・見学依頼には対応している。 ・地域住民を招待することにより、利用児のルーティーンが崩れる可能性がある。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5			
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5			
	④③	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5			
	④④	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載して	5			<ul style="list-style-type: none"> ・まだこのような対応を実施したことがない。
	④⑤	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1		<ul style="list-style-type: none"> ・主にご家族からの情報を共有している。 ・保護者より確認を行い、職員に周知している。
	④⑥	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5			<ul style="list-style-type: none"> ・サイボウズにあげて会社全体に報告している。 ・インシデント報告者を作成し、サイボウズの掲示板で共有している。 ・インシデントが起きた場合、速やかに報告書を作成し事業所内で共有している。 ・グループウェアに速報として掲載し、職員間の共有により再発防止に努めている。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、各自の評価をまとめた自己評価です。